

発行/青森県今別町 編集/総務課企画担当 ☎ 0174(35)2001 FAX 0174(35)2298
今別町ホームページアドレス <http://www.imabetsu.net.pref.aomori.jp>



「2006スポレクフェスティバルinいまべつ」が、10月8日町立今別体育館を主会場に、子供からお年寄りまで約300人の町民が参加し開催されました。

フェスティバル当日は、悪天候のため屋外競技1競技を除く6競技が体育館で行われ、集った町民は汗を流しながらスポーツやレクリエーションを楽しんでいました。

関係者は、「今年で2回目のフェスティバルですが、これからも町民の健康づくりのために開催したい」と話していました。

平成17年度決算報告書

平成17年度（H17.4.1～H18.3.31）の決算内容をお知らせいたします。町が行っている様々な仕事は、私たちが納めている税金や国・県からの補助金などでまかなわれています。決算は、このようなお金が私たちの暮らしや、まちづくりの中で、どう生かされているかをまとめたものです。

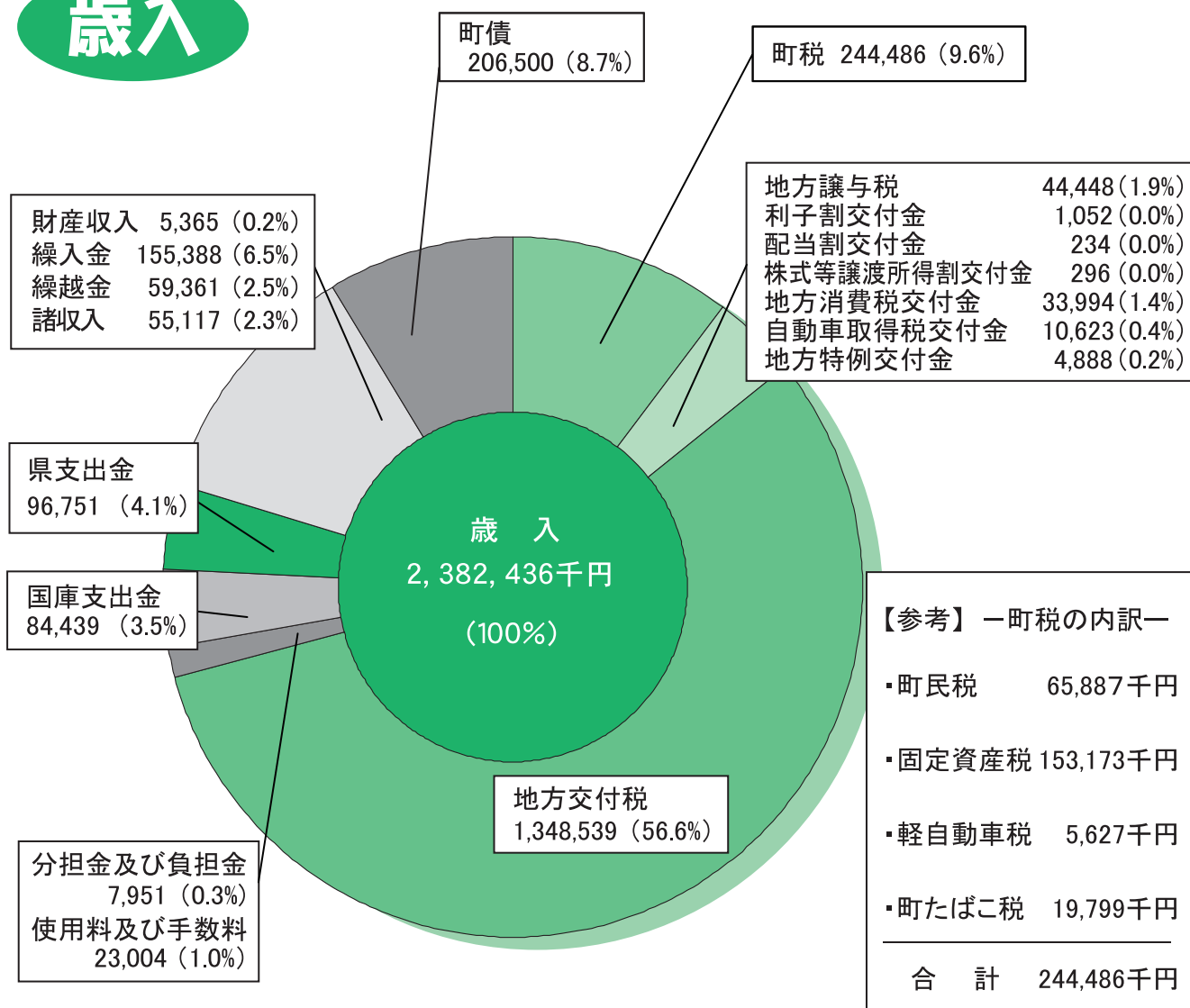
平成17年度の町の決算のあらましを見ましょう。

一般会計歳出決算額 23億4千855万9千円

実質収支額32,956千円

◆実質収支とは、決算上の形式収支（歳入・歳出の差引き）から、さらに翌年度へ繰り越すべき財源を差引いたもので、その年度の実質的な黒字・赤字を示すものです。

歳入

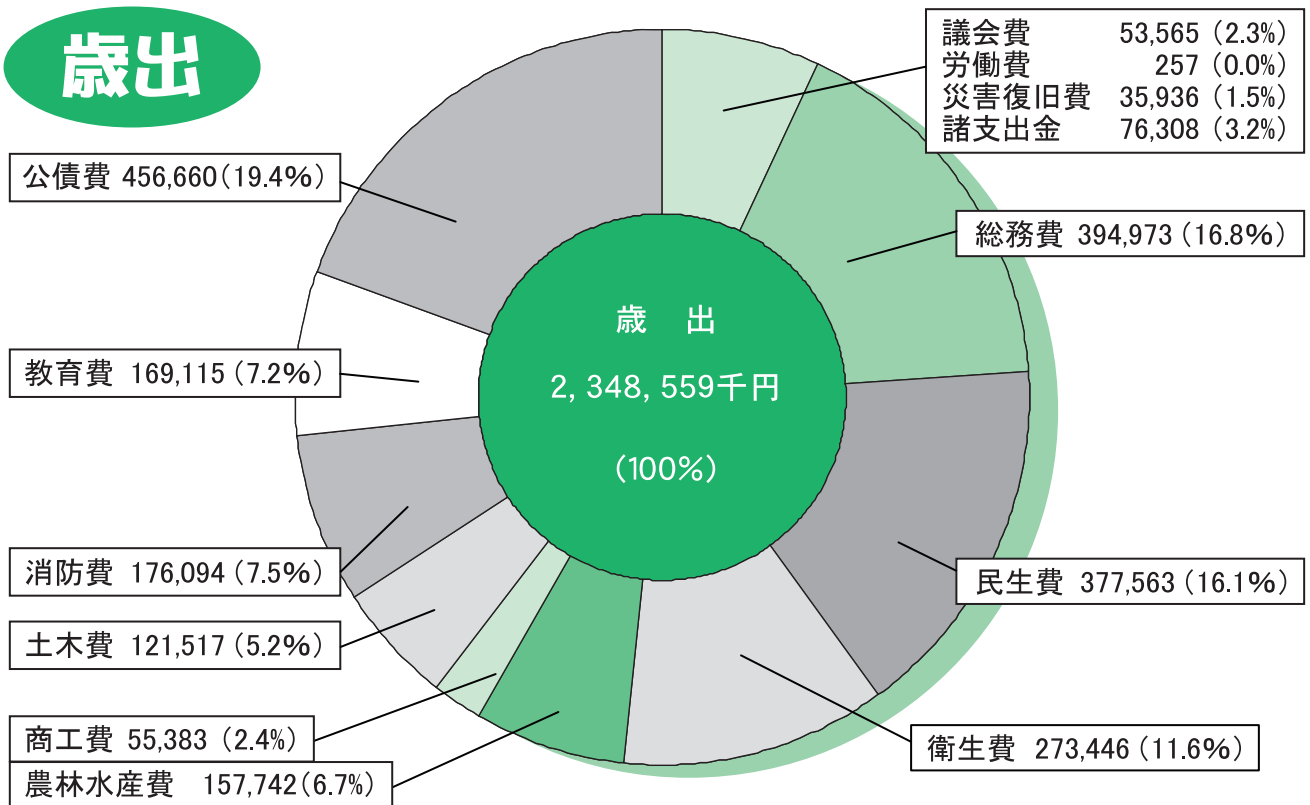


歳入は23億8千243万6千円 前年比 9.8%減

一般会計の歳入総額は、23億8千243万6千円で、前年度に比べ9.8%の減収になりました。主な内訳として、町税については、3.2%（817万9千円）の減収、普通交付税は対前年度比で2.4%（2千890万7千円）の減収となりました。また、町有地の売却で304万円の収入などがありました。

人口減少と高齢化の進行による税収の減少や国からの交付税等の削減が更に進むと思われる、これからも自主財源の確保に努める必要があります。

歳出



歳出は公債費が19.4%占める

一般会計の歳出総額は、23億4千855万9千円で昨年に比べて7.5%減額となりました。目的別歳出のトップは、公債費の4億5千666万円で全体の19.4%を占めています。以下、総務費の3億9千497万3千円、民生費の3億7千756万3千円などとなっています。

町では、国の三位一体改革、交付税の削減等により財政状況が悪化したため、行政改革の一環として町立今別保育園の民営化を実施し、一定の成果を収めました。

今後も引き続き、住みよい町づくりに努力していきます。

公債費とは？

町が借り入れた地方債（長期借入金）の元利償還金及び一時借入金利子の合計額をいいます。過去の債務の支払いに要する経費です。公債費は、町の歳入の減少等に関係なく支出しなければならない義務的経費です。

平成17年度の主な事業

単位：千円

奥平部集会施設整備事業	32,380
現年度発生公共土木施設	
補助災害復旧事業（繰越分）	23,624
漁港整備事業負担金	19,000
遊技場解体工事（繰越分）	10,496
町道維持管理工事	9,922

【単位：千円】

会計別	歳入	歳出	差引残額	
一般会計	2,382,436	2,348,559	33,877	
特別会計	国保事業	564,190	569,198	5,008
	国保診療	157,184	233,763	76,579
	老人保健	549,404	552,533	3,129
	介護事業	315,895	308,949	6,946
	介護サービス	282,047	381,693	99,646
小計	4,251,156	4,394,695	143,539	
企業会計	水道	105,074	105,899	825
	収益的			
	資本的	7,300	61,762	54,462
小計	112,374	167,661	55,287	
合計	4,363,530	4,562,356	198,826	

わたしたちが納めたお金（町民1人あたり61,474円）

固定資産税 38,514円	町民税 16,567円	町たばこ税 4,978円	軽自動車税 1,415円
------------------	----------------	-----------------	-----------------

わたしたちに使われたお金（町民1人あたり590,535円）

公債費 114,825円	総務費 99,314円	民生費 94,937円	衛生費 68,757円 <small>うち、広域事務組合分 ゴミ・し尿・斎場 33,083円</small>	教育費 44,278円	消防費 42,523円 <small>うち、広域事務組合分 38,570円</small>
農林水産費 39,663円	土木費 30,555円	諸支出金 19,187円	商工費 13,926円	議会費 13,469円	災害復旧費 9,036円
					労働費 65円

（平成18年3月末人口 3,977人より算出）

躍進続けて60年

青森県立今別高等学校 創立60年記念式典

10月6日、県立今別高校が創立60周年を迎え、同校において記念式典が開催されました。式典には、生徒、教職員、同校卒業生や来賓、父兄の方々が出席し、県教育委員会委員鈴木秀和氏をはじめとする多数の祝辞や、歴代校長以下18名に感謝状の贈呈が行われました。また式典では、生徒を代表して生徒会長、阿部磨優子さんが今高生としての決意を述べ式典を終えました。

今別高校は、昭和23年に青森工業高校分校とし発足、昭和27年10月1日以来、上磯地域唯一の高校として、これまでに6,000人以上の卒業生を送り出してきました。発展・躍進し続けてきた県立今別高校も、来年3月その幕を下ろすことになり、来年4月からは、県立青森北高校今別校舎としてスタートします。

これに伴い、職員数は8名となり、校章・校歌は北高校と同一となり、校訓も『自研・和協・勤労』から北高校の『自治・協和・日進』に変わります。

更に、新一年生からは青森北高校の制服となり、新たな歩みを始めることになります。

最後に、鎌田康治教頭は「今後、上磯地区後期中等教育の要としての役割を担い続ける事に変わりはない」と話されました。

決意を述べる阿部磨優子さん



感謝状を贈呈される歴代校長の方々



祝賀会で生徒が荒馬を披露



60周年記念式典風景

北海道新幹線情報 NO.6



北海道新幹線 開業に向け動き始める

10月3日、町議会北海道新幹線開業促進特別委員会と庁内新幹線対策研究チームが、JR北海道青函トンネル工務所・今別管理室のご協力により、青函トンネル内の施設について視察研修を行いました。

今別管理室の川松所長代理外2名の方から、青函トンネル内の施設や安全を確保するため、様々な工夫がされている事など



二股地区で工事(駅)に伴う概要説明及び意見交換が行われました。



JR職員からトンネル内の説明を受ける町関係者

また、10月11日には鉄道建設・運輸機構東北新幹線建設局の方々が来町し、二股地区福祉会館において北海道新幹線(新青森(新函館間)地元説明会が開催され、スライド上映による新幹線の工事概要説明と保守基地建設のための用地測量について協力をお願いされました。

参加者からは「平成27年度末には北海道新幹線も開業し、当町に新幹線駅が出来る。町民の皆様方と力を合わせ、駅の効果的活用について積極的に取り組んで行かなければならない」と、決意を新たにしていまいました。

故 平山順一氏が叙位叙勲受賞
長年にわたる功績が認められる

旭日単光章

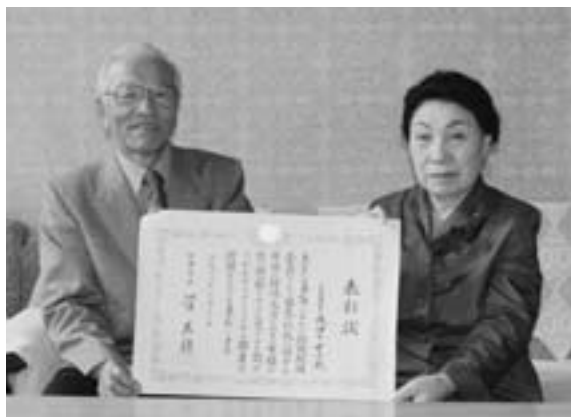
去る7月28日に亡くなられた元今別町議会議員平山順一氏（69歳）が旭日単光章を受賞されました。

平山氏は、昭和59年3月から平成16年3月まで連続5期、20年余りの永きにわたり町議会議員として地方自治の発展、更に議会運営委員長や産業建設常任委員会委員長を精力的に務め、町の産業振興の向上などに多大な貢献をした功績が認められたものです。



小鹿町長から表彰を受ける、妻平山てつさん

総務大臣表彰



受賞を小鹿町長へ報告する成田さん（右）

行政相談委員の成田りせ子さんは、10月11日東京虎ノ門パストラスにおいて、行政相談員として長年の活動に尽力された功績が認められ、総務大臣より表彰されました。

行政相談委員は、行政に対する住民の苦情や要望、陳情などを関係行政機関にあつせんし、解決の促進を図る役割を担っており、成田さんは平成元年から相談委員として活動し、今年で18年目を迎えました。
受賞にあたり、成田さんは「これから住民のために出来る限り頑張りたいと思います」と述べていました。

社会教育

功績認められ

教育委員連絡協議会表彰

この度、町社会教育委員の木村清次氏（昭和62年5月から現在に至る、20年）が東北地区社会教育委員連合協議会表彰。花田照俊氏（平成2年5月から平成4年3月、平成7年5月から現在に至る、14年）が青森県社会教育委員連絡協議会表彰。三浦廣子氏（平成9年5月から現在、9年）が東青地区社会教育委員連絡協議会表彰を受賞されました。

3氏は、長年にわたり町社会教育委員として、地域の社会教育の振興にご尽力され、その多大なる功績が認められたものです。



三浦廣子
（砂ヶ森）

花田照俊
（西田）

木村清次
（村元）

大川平地区『お山参詣』

大川平地区（嶋中春光総代）で9月24日、参拝行事の「お山参詣」が行われました。

参拝者は、岩木山神社までの道のりを「さーいぎさーいぎ」の掛け声とともに練り歩き、家内安全、五穀豊穡を祈っていました。

この行事は、明治頃から行われており、百年以上続いています。

今年も沢山の参拝者が、色とりどりの御幣を掲げ、岩木山神社拝殿へと続く急な階段を登っていました。



急坂を登って行く参拝者※結構キツイ！

初期消火・地元住民で！



大泊地区で消火訓練

10月8日、大泊地区において火災予防運動の一環として、第9分団主催の消火訓練が行われました。

当日は大雨警報発令中にもかかわらず、地域住民40名以上が参加し、今別分署米谷署長による消火器の取り扱い説明の後、実際に住民が消火器を使った訓練を行いました。

参加した住民は、万が一のために備え、真剣に取り組んでいました。

今別バドミントン大会開催

今別バドミントンクラブ（代表・藤田剛）は、9月23日町立体育館において、『2006今別バドミントン大会』を開催しました。

大会は、町内外から約100名の選手が参加して、ナショナルリーグとアメリカンリーグ（各リーグ4チーム）に別れ予選が行われました。今年は、パスタに関連したチーム名で8チームが編成され、熱い戦いが繰り広げられました。

大会終了後は、豪華景品争奪ジャンケン大会などが行われ、参加した選手たちは、秋の風が吹き始めた体育館で心地よい汗を流していました。



- 結果は次のとおりです。
- ☆1位 シーフード
 - ☆2位 ボロネーゼ
 - ☆3位 ペペロンチーノ
 - ☆4位 ラビオリ
 - ☆5位 ミートソース
 - ☆6位 ナポリタン
 - ☆7位 カルボナーラ
 - ☆8位 ポルチーニ

「子育てサークル」ちゅっちゅくらぶが「ハロウィンパーティー」でお菓子探し！！



12月にはクリスマス会を計画中です。お楽しみに！！
詳しい日程等については、事務局までお問合せ下さい。

10月12日開発センターにおいて、子育てサークル『ちゅっちゅくらぶ』がハロウィンパーティーを開催しました。

お母さん達がオリジナルで作った可愛い衣装に身を包み、魔女やおばけに変身！宝（お菓子）探しや新聞紙プールなどで遊び、楽しい時間を過ごしていました。

村元老人クラブ「社会奉仕」

地区の美化に一役

9月21日、村元老人クラブ（会長 木村清次）約25名で地区内のゴミ拾いを行いました。

当クラブは、年に3回地区の清掃活動を行っており、木村会長は『少しでも地域の美化に役立ちたい』と『社会奉仕の日』の旗を掲げながら袋いっぱいゴミを拾っていました。





こんにちは。保健師です。

～すすめよう 健康いまべつ21～

今月のテーマは「インフルエンザ」です。

「インフルエンザは風邪とはちがう、わが国最多の感染症です・・・」

インフルエンザは、インフルエンザウイルスが体内に入っておこる感染症で、風邪とは違います。インフルエンザは、全身に現れる強い症状が特徴で、重症化したり、合併症を引き起こすこともあるので、インフルエンザの流行が予想されるこれからの時期、特に、免疫力の弱い子供や高齢者のみなさんは注意が必要です。

	インフルエンザ	風 邪
主 な 症 状	一気に高熱がでる（寒気がする）、全身の関節や筋肉が痛くなる、だるい、下痢	のどの痛み、鼻がムズムズする、水のような鼻水、くしゃみや咳がでる
熱	38～40度（3～4日間）	微熱
感染力	強い。短期間に膨大な人に感染する。	弱い。徐々に感染が広がっていく。
特 徴	肺炎など重症化することが多い。65歳以上の高齢者での死亡率が高まる。	発熱もあるが、インフルエンザほど高くなく、重症化することはあまりない。



予防接種をしてから、効果があるまで2～3週間かかります。そのため、流行期に入る前に（11月頃までに）予防接種を受けましょう。予防接種は重症化を防ぎます。



第1回 Let's 町民ウォーク開催！

10月6日（金）、かねてから当紙面でも参加者を募集しておりました「町民ウォーク」が開催されました。当日は14名の方が参加し、雨が落ちてきそうな空の下、みなさん張り切って歩いていました。普段からウォーキングをしている方も、正しい姿勢でのウォーキングはかなり厳しかったのでは・・・？ 3キロ～5キロのコースを颯爽と歩き、いい汗をかいたようです。次回は健康教室開催の要望もあり、みなさんが健康づくりに積極的に取り組みたいと思っ



保育園虫歯予防教室

「歯にいいおやつづくり」



9月28日（木）今別保育園において、歯にいいおやつづくりが開催され、園児とその保護者が参加しました。栄養士のお話のあと、「まきまきサンドイッチ」を調理。ワイワイ楽しく調理し、歯にいいおやつ、あまりよくないおやつなど、園児のほとんどが答えることができていました。あとは、お家でどのような食習慣を子供達に伝えていくか...子供達の健康な歯や体を守るのは、大人の役割です。



＜11月の福祉係行事予定＞

事業名	日 時	受付時間	会 場
乳幼児健診	11月 8日（水）	個別に通知します。	開発センター
予防接種 （三混、麻疹風疹）	11月29日（水）	13：00～	開発センター

山林と人とのかわり

— 今昔 — (八)

— 森林軌道による搬出 —

薪を燃やして走る蒸気機関車を見たことのある人、今別の土場などでトロツコを押し遊んだ記憶のある人は、もう老人クラブの中堅層でしょう。とここで、日本の最初の森林軌道である津軽半島森林軌道は、明治39年の着工です。幹線は青森から沖館、蟹田と進み、中里へぬけ金木に至る67キロ。(トラック運材に押されて廃止される昭和42年までの、各支線の総計は250キロ以上) 明治37年の日露戦争と共に木材の需要も高まってきました。津軽半島には、

林署では昭和4年、今別貯木場、二股、襲月、鬼泊沢などを起点とする各支線の計画延長が約17キロ。昭和30年の管内概要では総延長が、約26キロです。これは、蟹田管林署管内の一部の高石股、高根分線と南沢支線の合計と同じくらいです。

藩政時代の禁伐で保護された御留山に、莫大な量のヒバが宝の持ちぐされとなっている、とされたのです。山林局はこの軌道が運ぶヒバの材積を約534 m³、ブナ等335 m³、年間伐採量を約11万m³と見積りました。少し遅れて明治45年には、川内森林軌道の幹線が6キロ。木曾の森林軌道は大正5年、幹線約20キロ。森林軌道による効率の良い搬出は、まず津軽、下北半島のヒバが主な目標であったようです。今別管

ほとんど見渡すかぎりの津軽半島の山々は、昭和30年代前半までに伐り尽され、これらの森林軌道で運びだされたと言えるでしょう。森林軌道がそれまでの人力や牛馬道と違った新し技術、効率の進展また文化の息吹をもたらしたのは確かです。

しかし、木材生産と利益追求のその後の展開の中で、それは森林収奪の前期の象徴ともなったようです。これに続く、大規模林道時代の幕開けと結末は、岩手県の子ベツトと言われた安家村起点の安家村林道のケースに見られます。

北上山系の高い山々と深く険しい谷、三陸沿岸に至る交通の便も乏しい村は、県と共

に林道開設を陳情。林野庁の経済効果調査での森林資源量地域経済発表の見込みに、新聞も「200年以上の原始林に眠る、1千億円以上の森林資源」などと書きたてました。昭和30年の林野庁のモデル事業である、この大規模林道開設の結末を当時誰が予想したでしょう。基本的には森林資源の切り売りである。この開発の進行と、昭和50年代までの20数年間の一見はなやかな地域の潤いのあとに残ったのは、急激な過疎地の疲弊でした。もちろん今も、安家村の人たちの懸命な再生とのりみは続いています。私たちにしても他人事ではありませぬ。



澤田 瑞穂さん
(今別八幡宮宮司)



10月6日から8日にかけての低気圧等に伴う大雨、強風により被害を受けられた方に対する県税の減免措置等について

10月6日から8日にかけての低気圧等に伴う大雨、強風により被害を受けられた方は、次のような県税の減免措置等を受けることができます。

1. 県税の減免

災害によって財産に非常に大きな損害を受け、そのために生活に重大な影響があった場合には、その被害の状況等に応じて、今後納付すべき県税を減免する制度があります。

2. 徴収の猶予災害により、県税を一時に納付もしくは納入することができないときは、県税の徴収を猶予する制度があります。

お問合せ先 青森県税事務所

017-734-9970

あなたも里親になりませんか

子どもにとって、生みの親の温かい愛情の中で、すこやかに育つことほど幸福なことはありません。しかし現実には親の離婚や病気など、さまざまな事情で家庭に恵まれない子どもたちが沢山います。このような子どもたちを、一時的または継続的に、家庭の暖かい愛情と和やかな雰囲気の中で育てていただくのが親里制度です。

里親には、養育里親、親族里親、短期里親、専門里親の4つの種類があります。

子どもを養育している間は、里親手続、子どもの生活費や教育費などが支給されます。

〈問い合わせ〉 青森県中央児童相談所 電話017-781-9744



高桑うめさん (大川平)



おばあちゃんのお話

陸の孤島に春

第 8 話

「来た、来た、見えた、ゾー」

昭和33年10月22日、蟹田以北三厩まで津軽線延長開始、一番汽車がホームに入ってきた瞬間の様子です。

汽車もモールの飾りやお祝いの旗等付けて停車するや、運転手、車掌が拳手の挨拶、国鉄職員の制服姿のかっこよさに、村民挙げての大騒ぎです。

10月は収穫の秋、婦人会は仕事を休んで、仮装行列で部落一周し駅へ、小学校全校生徒が小旗を振り、長いホームは溢れんばかりの村人で、感動のあまり涙する人ありの大歓迎でした。

青森 蟹田間は昭和26年開通したのですが、終戦間もなく国鉄も予算の関係で、以北は見送りになっていたそうです。

蟹田からの汽車を見たことも無く、勿論乗った人も少ない頃なので・・・？ 無人駅であろうが、部落か

す。

急用で青森に行くにも、細い道を出越えし、蟹田まで出てバスか、都合よく行って汽車に乗れるか、帰りが大変、定期バスに乗れば幸い、二日かかりだったとか？

其田商店前からの定期バスにガタガタ揺られ、せつかく治つて退院したのに、また、再発するのではないかと心配しながら通院しているのだと口説きながら乗車している人ありでした。

その他の定期便は海、平野廻漕店からハシケで沖で待機している船に乗る。 天気晴朗の日は風も気持ちよく、悪天候の日は命がけでした。舟の名は4代丸と八千代丸と、他に大徳丸とかもあつたようだ？

役場職員の出張でも、2・3日はかかっていたと聞いております。 汽車は今も同じ2両編成、その頃は6往復でした。三厩

ら汽車で青森に行く事が出来る便利な時代がきたので、す。 ようやく北の孤島にも春が訪れたので

始発、一番で大川平を午前6時16分と記憶していますが？ 通学生、行商、勤人汽車はいつも往復満員混雑し、上りはよいとしても帰りの終車がこれまた大変。発車時刻より1時間も前に6番ホームに入り、夏場は良いが、冬は待つのが当然の毎しと寒さに耐え、席取りに成功した時の安堵感、住めば都でこの辺鄙な吾が家に辿りつく、いつの頃からか車社会に急変、市内の各病院は患者の送迎、若い人達は車通勤、通学生も減る一方、奥津軽にも特急が走り遠方まで乗るには時間も短縮され、便利だと思つた。 特急も走つて欲しい、在来線も残して欲しい。 昭和33年津軽線が延長した時の感動を忘れたくないです。 . . .



★ 最低賃金の改正について ★

青森県最低賃金は 平成18年10月1日から1時間610円 となりました。

最低賃金に関するお問い合わせ先
青森労働局 賃金室
又は青森労働基準監督署

TEL 017-734-4114 (直通)
TEL 017-734-4444

国民年金保険料免除制度について

所得が少ない等の理由で保険料のお支払いが困難な場合は、市町村役場に保険料免除等の申請を行って下さい。

保険料に免除制度の種類、お支払いいただく保険料及び保険料を全額お支払いいただいた場合と比較した免除等の期間にかかる老齢基礎年金の額は以下のとおりです。

免除制度の種類	保険料額	老齢基礎年金の額
全額免除	0円	6分の2
4分の1納付(4分の3免除)	3,470円	6分の3
半額納付(半額免除)	6,930円	6分の4
4分の3納付(4分の1免除)	10,400円	6分の5
若年者納付猶予	0円	0
学生納付特例制度	0円	0

【ご注意ください】

- (1) 4分の1納付、半額納付及び4分の3納付は、一部保険料をお支払いされない場合、一部免除が無効になり未納と同じになるため、将来の老齢基礎年金の計算に含まれないだけでなく、万が一の時の障害基礎年金や遺族基礎年金を受給できない場合がありますのでご注意ください。
- (2) 若年者納付猶予制度は20歳代の方がご利用できます。
- (3) 学生納付特例制度は学生の方がご利用できます。

問い合わせ先
青森社会保険事務所
TEL 017-734-7498
役場町民福祉課 国民年金担当
TEL 35-2001

農業用免税軽油の 交付申請を受付します

青森県税事務所では、平成19年に使用する農業用免税軽油についての交付申請を受付します。

受付は、平成18年11月16日（木）及び同月17日（金）の午前9時から午後4時まで、青森市新町2丁目4番30号県庁舎北棟3階の青森県税事務所で行います。

なお、申請手続きが受付期間より遅れますと、免税証の交付も遅れることとなりますので、受付期間は必ず守って下さい。

●それぞれ提出書類が異なりますので注意してください。

●不明な点や詳細につきましては、青森県税事務所課税第一課お問い合わせ下さい。

TEL 017 - 734 - 9972

○申請には次表の書類等のほか、430円切手（返信用封筒に貼付）及び印鑑が必要です。

必要な書類等	新規	更新	継続
免税軽油使用者証交付申請書（※1）	○	○	
免税証交付申請書	○	○	○
免税軽油使用者証書換申請書			●
免税軽油所要数量計算書（※2）	○	○	○
耕作証明書	○	○	○
免税軽油使用者証		○	○
県収入証紙400円（※3）	○	○	●
使用機械の譲渡証明書等	○	◎	●
誓約書（※4）	○	○	

新規・・・新たに申請する人
更新・・・免税軽油使用者証の有効期限が平成19年12月30日以前の人
継続・・・免税軽油使用者証の有効期限が平成19年12月31日以降の人

◎・・・更新で免税軽油使用者証の機械に変更のあった人のみ必要
●・・・継続で免税軽油使用者証の機械に変更のあった人のみ必要

※1 共同申請の場合は免税軽油使用者証共同交付申請書になります。
※2 防除組合等の場合は軽油使用計画書になります。
※3 県税関係証明等原簿に貼ります。
※4 国税又は地方税の滞納処分を受け、その滞納処分の日から起算して2年を経過していない者ではないこと等、免税軽油使用者証の交付に係る欠格事項に該当していないことを誓約していただく書面です。

このほか、防除組合等の場合は組合員名簿、組合定款・規約、前年の軽油使用明細書及び納品書が必要になる場合があります。

建設業退職金共済制度

☆☆☆知っていますか？建退共制度☆☆☆

この制度は、建設現場で働く方々のために、「中小企業退職金共済法」という法律により国が作った退職金制度です。

事業主の方々は、現場で働く労働者の共済手帳に働いた日数に応じて掛金となる共済証紙を貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに建退共から退職金を支払うという、いわば業界全体での退職金制度です。

加入できる事業主：建設業を営む方

対象となる労働者：建設業の現場で働く人

掛金：日額310円

★特長

◎国の制度なので安全、確実、申込み手続は簡単です。

◎経営事項審査で加点評価の対象となります。

◎掛金の一部を国が助成します。

◎掛金は事業主負担となりますが、法人は損金、個人では必要経費として扱われ、税法上全額非課税となります。

◎事業主が変わっても退職金は企業間を通算して計算されます。

お問い合わせ

〒105-0011 東京都港区芝公園1-7-6

独立行政法人 勤労者退職金共済機構

建設業退職金共済事業本部 事業推進室

03 - 5400 - 4316

労働者・事業主の皆様！

職場でのトラブル解決を労働局がお手伝いします！

～無料の「個別労働紛争解決援助制度」
をご利用ください～

個々の労働者と事業主の間の解雇、配置転換、賃下げ、セクハラ等の労働関係のあらゆる紛争を対象に無料でご利用いただけます。

- 1 総合労働相談コーナーにおける情報提供・相談
- 2 青森労働局長による助言・指導
- 3 青森紛争調整委員会（弁護士・大学教授等により構成）によるあっせん（ただし、あっせんは募集・採用に関するものを除く）

○詳しくは、青森労働局総務部企画室

017 - 734 - 4212又は青森労働基準監督署庁舎内総合労働相談コーナーまでお問合せください。

青森労働局ホームページ

(<http://www.aomori.plb.go.jp/seido/seido01.html>)

町営住宅のお知らせ

現在、町営住宅に空があり若干の入居が可能となっていますので、入居を希望される方はご連絡下さい。

お問い合わせ先

今別町役場産業建設課 住宅係

35 - 2001